新型ドラレコ実践！編

「交差点を直進したら、対向車が突然右折して衝突」「カーブで対向車がはみ出してきて接触転倒」と、自分が安全運転でも事故は災難のように降りかかる。そんなときに事故の原因を映像で客観的に証明してくれるのが、ドライブレコーダーだ。

アクションカムと一台二役のドラレコ

●まとめ：八百山ゆーすけ　●写真：山内潤也

同梱のマウントでアウトドアにも大活躍

最近はドライバーに限らずライダーの間でも、身を守るアイテムのひとつとしてドラレコへの関心が高い。ただ、〝万が一〟の時にだけ役に立つドラレコには、なかなかサイフのヒモも緩まないことだろう。そんな方向きに最適なのが、インカムでおなじみのミッドランドがリリースしたドライブレコーダー（ドラレコ）「XTC-290」だ。

コンパクトなボディながら撮れる映像はフルHD画質と申し分ない。本体の内蔵バッテリーで動作するほか、USBケーブルでバイクやモバイルバッテリーからの給電も可能。本体はアルミ合金製で質感が高く、なによりIP65の防塵防水なので少々の雨でも安心だ。

この必要にして十分なドラレコの機能と性能に加えて、XTC-290はアクションカムとしても使えるのが最大の魅力だ。スイッチひとつでアクションカムモードに切り替えられるだけでなく、動画を撮りながら写真も撮れるスナップショット機能を備えている。オプションの防水ケースに入れれば、水深25mまで潜ることができるため、マリンスポーツなどでも利用できる。

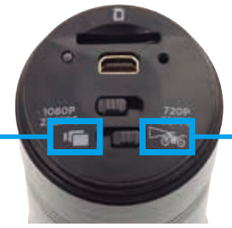
さらにもうひとつの魅力が手軽さだ。1万円台前半というプライスで、キットには3種類のマウントを同梱。バイクに付けるだけでなく、身体に付けて使えるマウントもあり、旅先のアクティビティでも大活躍することと間違いなしのドラレコなのだ。

カード容量の上限で録画停止

アクションカメラモード

アクションカムとして使うために、古いファイルに上書き記録をしない録画モードも用意。このモードではメモリー容量上限まで記録されると録画を停止する。録画の開始、停止はボタンの操作で行う。8～128GBのマイクロSDカードで約70～1120分（1080Pモードの場合）の録画が可能だ。

ワンタッチで2モード切り替え



古い動画を自動で上書き

ドライブレコーダーモード

ドラレコは“事故の瞬間”を映像として記録するための道具。逆に言えば事故の瞬間の記録さえあれば、それ以外の映像は必要ない。そのため、走行中ずっと録画しながらも、映像は5分ごとに分割して記録。メモリーがいっぱいになると、古いファイルに上書きする形で常に録画を行う。

XTC-290

●税込価格 ： 1万4580円
●問 ： LINKS ☎075-708-2362

仕様	
録画サイズ	Full HD 1080P/HD 720P
フレームレート	1080P:27.5fps/720P:55fps
レンズ画角（水平）	120度
防水 ・ 防塵	IP65相当
記録媒体	MicroSDカード 8～128GB（Class10）

←カメラ本体に加えてパイプクランプ、ベルト式、貼付式の3タイプのマウントを同梱するなど、すぐに使えるセットとなっている。万が一に備えた落下防止用ストラップも付属している。

USBポートから常時充電可能

エンドキャップを防水USB充電ケーブルに付け替えると、モバイルバッテリーや市販のUSBアダプタを介して常時充電ができる。ドライブレコーダーモードでは給電の有無で録画が開始・停止されるため、録り忘れがなく、便利だ。

ワンタッチで「スクショ」が撮れる!

上面後端の「スクリーンショット」ボタンを押すことで、設定してある動画の解像度で静止画の記録が可能だ。動画撮影中に静止画として残したい場合に便利だ!

キャンペーンINFO

専用防水ケース プレゼント!

XTC-290発売記念キャンペーンを'18年10月より実施！全国のミッドランドプロショップにてXTC-290を1個購入すると、専用防水ケースを1個プレゼント！ 数量限定なので、気になる方はショップへ急ごう！

防水ケースの併用で遊び方が選べる!

筐体はIP65相当の防塵防水性能を備え、少々の雨でも問題なく使える。さらに水深25mまで耐える別売の防水ケースを使用すれば、水辺のアクティビティでも使える。

付属のマウントでアングル自由自在!

キットに付属のマウントを駆使することで、ハンドルバーやアクセサリーバー、ヘルメットや車体、さらに腕や脚など、さまざまな場所に取り付けが可能だ。

トンネル

昼間

夜間 街灯なし

明暗や色味にメリハリの効いた画作り

明暗差の大きいモノのエッジを縁取って強調するような画作り。ハイライトとシャドーのコントラストや色味の階調のメリハリがとても強く、モノの存在がより強調されて見える。昼間は明るいものはより明るく、暗いものはより暗く描かれる一方で、トンネルのように光が回る場所では、全体的に明るめに景色を描き出す。真っ暗な夜道ではヘッドライトの照射範囲の明るさがとても際立っている。

街灯あり